

第3回米原市定例教育委員会

日 時：平成26年3月20日
午後2時00分開会
場 所：山東庁舎3階
第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 堀田委員 小路委員
山本教育長

教 育 部 長：坪井部長

教 育 総 務 課：田中課長 山田課長補佐

学 校 教 育 課：岡田課長

生 涯 学 習 課：岩脇課長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：喜田課長

図 書 館：小北館長

健康福祉部 理 事：岩山理事

子 育 て 支 援 課：川西主査

書 記：田中

1 開 会

2 委員長あいさつ

- 教育委員会でも手分けして各学校の卒業式に参加していますが、子ども達にとっては慣れ親しんだ学舎との別れということで感動的な卒業式が行われています。河南小学校は初めての卒業式ということで新聞に掲載されていました。私も小学校の卒業式に出席しましたが、子ども達が胸を張って国歌・校歌を歌っていました。日頃先生方がしっかりと指導をされていると感じました。
- 来賓に卒業生の人数と担任のみが書かれた資料を渡している学校がありました。学校によっては式次第の中に卒業生の名前が書かれていたり、PTAの新聞の中にPTA会長・校長の挨拶と共に子ども達の写真と将来の夢が書かれたものがあります。個人情報のあることではありますが、各学校に任せきりではなく、どのような資料が良いのか教育委員会としても指導すべきことはしていかなければならない。来賓の席のことも含めて状況を調べていただきたい。
- 異動の時期になりますが、引継ぎを小中の連携も含めてしっかりやっていただきたい。子どものことに関しては特に引継ぎを確実にしていただきたい。

3 会議録承認

2月定例会議事録 承認

第1回臨時会議事録 承認

委員長：前回の会議で「コミュニティスクール」、「小規模特認校」という言葉がよく出てきましたが、共通理解のためにも資料の提供をお願いしたい。

4 教育長報告

- 人事の内示につきましては、県費教職員は3月24日午後1時に県下一斉解禁、管理職人事は25日午前9時の予定で進めています。市行政の管理職は24日、一般職は25日で24日午前8時に臨時部長会を開催する予定です。
- 3月市議会において教育委員会への代表質問・一般質問がありました。特に小規模校の支援事業とは如何なるものかという問いに、地域と共に歩む学校の支援、コミュニティスクール的な学校応援隊を作りたいと答弁しました。学校の空調設備の整備計画については9月補正予算の対応になるかと思いますが、環境が整っても学力の問題はどうかという質問がありました。米原市は県平均、全国平均より厳しい状況であるという報告と、各学校での学習に向かう雰囲気づくり、個々の授業改善、家庭学習の充実の三本柱を大事にしたいと話しました。国際化に関する質問については、まちづくりマップの英語版、海外の方が来られた時に子ども達が参画する機会があれば積極的に参加し、ALTの活用も考えていきたいと答えました。
- 教育総務課については、空調設備設置工事の入札を4月に行います。学校教育課については人事の大詰めです。内示を受けていろんな反応があるかと思いますが、最後のまとめと新しい組織でのより良いスタートを確認をしながら進めていきたいと思っています。
- 滋賀夕刊の記事に、長浜市では市民大学の設置に関する一般質問に対して、米原市のルッチ大学を参考に取り組みたいとの答弁がされたと書かれていました。ルッチ大学の市民大学として地域のまちづくりを担うリーダー育成という部分が非常に評価されています。先日スポーツ顕彰表彰式では多くの表彰をし、講演会も行いました。同和教育推進本部員会議では、就学前部会、学校教育部会、社会教育部会の中で同和教育の目指すところを確認し、来年度新たなスタートを切っていききたいと思いました。
- 学校給食課については、先日食物アレルギー対応検討委員会が開催され、年々増える子ども達のアレルギー対応について26年度の早い時期にマニュアルの再検討の必要があると考えています。検討委員の中には委員会でアレルギー対応の決定をする責任の重さを心配される方もあります。最終的に検討委員会で決定するのは非常に難しい、行政サイドでアレルギー対応の方針を決めていく必要があると感じています。
- 歴史文化財保護課については、東草野の山村景観のフォーラムが開催されます。パンフ

レットの写真にもありますが、雪の中での山村風景が素晴らしいものだと再確認させていただいています。

- 図書館につきましては、おはなし会を継続して行っていただいています。4月19、20日は近江図書館の開館15周年記念イベントを行います。

事務局：大原小学校では、学校の卒業新聞を学区の区民の方に配っているそうです。

区民全員に児童の名前・顔写真入りの卒業新聞が配られることはどうなのか。

来年から卒業式用のPTA新聞と配布用の物は分けてはどうかと話しています。その辺は整理していく必要があると思います。

事務局：卒業式のしおりに児童の名前が載っていないというのは初めて聞きました。

しおりは保護者と来賓の方への配付に限定されていますので、こだわる必要はないと思いますが、新聞の方は個人を特定できないように集団の写真を使用するなどの工夫をしている学校があります。大原小学校は後援会の関係で全戸配布をしていると思います。

事務局：指導も入れながら検討をしてもらいたい。

委員：米原小学校の卒業式は歌もきれいで良い反応でした。個人情報に関しては工夫が必要だと思います。小学校、中学校での悪用はあまりないかも知れませんが、高校の名簿は利用されています。

委員：学校の情報で地域に出ている物としては、学校新聞が回覧板で回ってくるくらいで、PTAの卒業新聞は来賓や保護者のみに配付されていると思う。

事務局：大多数の学校がそうだと思います。PTAの卒業新聞の回覧は少ないと思います。

委員：国際化に関する質問は、山東町の時にあった海外派遣の話ですか。

事務局：外国人の方に米原市に大勢来ていただいて、子ども達が外国の方とふれあうという体験についての話です。例えば春照小学校が8か国の方を招いて国際交流をしていますが、それよりも子ども達が外へ出て外国の方と触れ合うことが大事という提案でした。

事務局：英語力の向上という視点が背景にあります。

委員：日本人の子ども達の中に外国の方が1人来ても駄目ですね。大勢の外国の方の中に子どもが入っていくと英語の問いかけにも答えていくようになります。

委員：公民館使用料の消費税改正に伴う見直しは。

事務局：必要経費を算定する中で、消費税の増税分を今度の使用料改定分の中で見込んでいます。

5 議案審議

議案第17号 米原市幼稚園バス運行管理規程の一部を改正する規程について

【教育総務課】

議案承認

議案第18号 米原市立学校の通学路に関する要綱について

【学校教育課】

委員：大東中学校は部活で山東グラウンドへ行く場合があり、登校する時と下校する時の通学路が変わりますが、指導はされていますか。

事務局：指導は行っています。

委員：登校時と下校時の生徒の交通量が違うように思いますので、保護者との連携を密にさせていただいて決められた通学路を守るよう指導をお願いします。

事務局：山東グラウンド近くの墓地の所と森の中を歩いて帰る生徒が多いと聞いていますが、そこは不審者が出る所として通学路になっていません。通学路以外の道を通る生徒がいるので、学校で指導をしています。

事務局：双葉中学校では近江図書館へ寄って帰る場合、登録制にしました。届け出により教職員が把握して、子どもに通学路としてどの道を通るかの指導が必要だと思います。

事務局：平成24年度の春先に亀岡市で通学中の大きな事故が起き、その後全国的に事故が相次ぎました。米原市においても子どもの安全確保に関する関係者会議という会合があり、スクールガードや防犯パトロール隊の代表、補導員の方に関わっていただき、通学路を含めた安全確保についての意見をいただく中で、通学路に関する事項を早急に整理して下さいとの要請があり、今回の要綱策定となりました。毎年市の関係部署と県の土木事務所、米原警察署と共に通学路の安全点検を行っていますので、学校との情報共有と更なる安全確認に努めてまいります。

委員：第7条で通学路を定期的に点検とありますが、「定期的」という表現はどのようなのか。

事務局：学期に1回は確実に実行していると思います。月ごとに安全点検があるので、その時に実施している学校もあり、様々だと思います。

事務局：具体的に学期に1回と書いた方が分かりやすく、徹底できる。

事務局：「定期的」の方が数が多いように解釈できるという意見があります。

委員：「定期的」というと実施できていない場合がある。

事務局：学期ごとと書くと必ず1回は実施しなくてはならないとなる。

委員：あいさつ運動実施時や毎月1日に実施等、学校の実情に合わせた通学路点検をしてもらえばいいので、「定期的」という表現でもいい。

事務局：あいさつ運動時に通学路を見ているとしても、教員が全ての通学路を点検できているわけではないと思います。「定期的」という表現でぼやけてしまうよりは「学期ごと」とすると必ず学期に1回と理解すると思います。学校内の安全点検の日は1日、

15日です。それでさえも中途半端になることがあります。通学路の点検は子どもの命に係わるので、学期に1回と指定した方が良いと思います。

委員：最低でも学期に1回はしてもらう。

委員：最低学期に1回以上、後は課長にお任せします。

事務局：通学路に問題があれば防犯パトロールやスクールガードから報告があるので日常的な点検はできていると思います。

事務局：スクールガードの方が毎日歩いておられますので、報告が入ってきます。

委員長：学校へ要綱を配付する時に、先生向けに参考資料を作っただけだと良いと思います。「定期的に点検」の表現は、「学期に1回以上点検する。」と修正してください。

議案承認

議案第19号 米原市スポーツ推進計画の策定について

【生涯学習課】

事務局：保護者の負担が非常に大きいので、スポーツ少年団に入らない子どもが増えつつあります。スポーツ少年団の在り方も検討していかなければならないと思います。小学校1年生から入部するのが果たして望ましいのかという議論も必要です。総合型スポーツクラブとの連携を図る中で、スポーツに親しむ機会づくりが必要でないかという意見を聞いています。今後、スポーツ少年団の本部役員会の中でも議論があると思います。小・中学校と総合型スポーツクラブとの連携を行いながら、米原市のスポーツ全体像を見つめ直す必要があると考えています。1年生から1つのスポーツだけをする事で親も子どももそのスポーツしかしないという固定した考え方になってしまう。早い年齢から子どもを締め付けることは、子どもの発達から考えて良いことなのか。せめて1、2年生についてはスポ少に入らずに総合型スポーツクラブでいろんなスポーツに親しみ、3年生くらいから自分の好きな種目を選んでいくことも大事ではないかと思います。

委員：昔は在学する中学校の部活動に好きな種目がなくても学校の部活動には参加して仲間づくりをし、それ以外にも自分の好きなスポーツをしている子がいた。

委員：能力を見極めるまでに決めてしまう。小学校1年生くらいでは自分自身も親も特性を見極めるのは厳しいと思います。

委員：極端な話ですが、子どもを取り合いしている。ホッケーのスポーツ少年団に入らない子が増えて存続が厳しくなっている現状があります。小学校低学年に関しては総合型スポーツクラブで広くいろんな活動をした方が良いとの意見があります。スポーツ少年団の本部会でも話していかなければならないと思います。

委員：小学3年生までくらいは、あまり激しい練習をさせていないのですか。

事務局：興味を持たせるために早くからボールを触らせたり、ある程度の練習をされている

と思います。

委員：運動の激しさによっては成長を阻害する部分が出てくると思います。

委員：逆に嫌になってしまうと、スポーツ自体が嫌いになってしまうと思います。

事務局：親の負担が大きいのでスポーツ少年団に入らない。小学校の高学年になってから辞めるケースがあります。親が代表者になると土日の活動に付き添い、コーチの接待もします。総合型スポーツクラブに入れば会費は必要ですが、送迎さえすれば後はスポーツクラブが面倒を見ます。

委員：他の道もあるはずなのに、小さい頃からホッケーをやっていたがためにホッケーをしなくてはならないようになってしまう。ある程度の時期までは基礎体力を身につけて、自分の特性に合わせて専門の種目に入る方がいいのではないか。

事務局：来年度、春照小学校が10分間運動推進校になりますが、運動している子としていない子のギャップが大きいと聞きました。

委員長：スポーツ少年団の場で話し合いをしていただくと良いと思います。

議案承認

議案第20号 米原市文化財の指定について

【歴史文化財保護課】

議案承認

議案第21号 米原市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部を改正する規則について

【子育て支援課】

議案承認

議案第22号 米原市青少年育成推進規則を廃止する規則について

【子育て支援課】

議案承認

6 協議事項

(1) 区域外通学許可に関する公開質問について

【学校教育課】

事務局：平成23年3月に部活がありながら、部活を理由とした区域外就学を認めたことと学校統合の話がマッチングしてしまった。昨年も公開質問がありましたが、前教育長の退任による不在期間があったため、返事が出せていません。

委員：地元の人にすれば切実な問題です。廃校にはならないのに、在学する子どもが減っていく。

事務局：小規模校の支援事業あるいは学校運営協議会的なものを立ち上げる中で、地域の力

を借りて学校の活性化を図る。小中学校の連携の基に地元の中学校へみんなで行くという雰囲気づくりの中で地域が一つになってもらわなければならない。区域外就学の制度がある以上、柏原中学校だけは許可できないとはできない。いじめの問題で他の学校へ行くケースもあります。柏原小学校の子は柏原中学校へ行くという地域のまとまり、支援が必要です。それを期待して小規模学校支援事業を行う。今後どのように展開するかを検証も必要だと思います。

委員：歴史や何かがあるから柏原中学校へ行きたいという雰囲気が芽生えるといいですね。

事務局：魅力ある中学校になる必要があります。小規模校であり学力もあると、その集団でやってみようという子も増えると思います。アピールは必要ですし、出来れば学校の部活動を増やしてもらいたいという思いがあります。

事務局：河南中学校もよく似た状況になりつつあります。野球部が1学年だけではチームを組めない状態になっています。大東中学校へ区域外就学しなくても河南中学校と柏原中学校で合同チームを作ることも考えられます。柏原中学校から大東中学校へ行っても部員が多いので、柏原の子がレギュラーになれるとは限らない。河南中学校となら人数が少ないので、レギュラーになり易く、やりがいもある。そういうことも考える必要がある。

委員：はびろネットが味方になってくださる存在だとありがたいですね。

事務局：部活動や学習の指導者として学校に入って盛り上げていただけるとありがたいと思います。

委員：柏原中学校の部活は陸上、卓球、吹奏楽。これだけしか出来ませんか。

事務局：1学年30人を切っています。

委員：学校の部活動に対する指導体制の状況を検証する必要があると思います。

委員：カモンスポーツクラブに柏原中学校で指導してもらうことはできませんか。

事務局：カモンスポーツクラブの指導者に協力してもらえないかと話しています。

委員：一般市民にも開放してやってもらってはどうかと思います。柏原の古民家でヨガをやっておられます。

事務局：人材についてはカモンスポーツクラブがありますし、柏原の地域にもおられると思います。

事務局：柏原で子どもを育てようと地域が一つにならなければならない。

事務局：保護者の思いとしては、やはり大きな学校へという希望があります。学校統合反対の色が強い中で、なかなか言えないと聞きました。

委員：どこの学校でも部活の種類を減らしている。

委員：スポ少の動きを見ていく必要があります。

事務局：スポ少の状況から中学校での部活動を考えると良いと思います。

委員：伊吹山中学校では学校体育館を夜間開放して一般の方や小学生も参加してクラブ活動をされています。そういった事が一つの雰囲気づくりになっていくと思います。

事務局：団体競技や集団活動による部活動が不可能になることについては、前段の現状に関する記載を削り、対策についての文面に「部活動指導を含めて積極的な学校支援をお願いしたい」と加える。

委員：小規模校のメリット・デメリットの記載について、もう少し分かりやすく工夫してもらおうといい。

事務局：メリット・デメリットを列記するよりも結論があればいい。

事務局：「小規模校が抱える課題として認識するところです。」とするよりも「不安を持たれた保護者がおられることを踏まえて」として「両者が共に学ぶ小学校」に繋げた方がすっきりすると思います。

事務局：学校に部活がありながら区域外就学を許可した件に意見を持っておられる。今後は、学校運営協議会的なところで学校支援を求めたい。

事務局：公開質問状ですので、質問・回答がこのまま外へ出ていくことになります。

7 報告事項

(1) 平成 25 年度米原市スポーツ顕彰の追加決定について 【生涯学習課】

(2) 後援等名義使用承認（後援）について

○第 16 回 S A N T O さわやか杯少年野球大会 【生涯学習課】

○平成 26 年度キッズスポーツアカデミー 【生涯学習課】

○平成 26 年度ジュニア・アスリートクラブ 【生涯学習課】

○平成 26 年度キッズサッカー教室 【生涯学習課】

8 質疑応答

なし

9 その他

○米原市立小学校児童通学定期券等交付要綱(案)について 【教育総務課】

○教育委員長および職務代理者の選任について 【教育総務課】

教育委員会委員の互選により選任

委員長 稲村 邦夫氏 再任

任期：平成 26 年 3 月 28 日～平成 27 年 3 月 27 日

委員長職務代理者 河居 郁夫氏 再任

任期：平成 26 年 3 月 25 日～平成 27 年 3 月 24 日

10 閉 会

次回

第4回定例教育委員会 4月22日(火) 午後3時00分～
山東庁舎 3階 第2委員会室

以上をもって第3回定例教育委員会を午後4時42分に終了した。